

第9回漢字文化理解力検定 記念講演 質問回答

(回答) 講師：笹原 宏之先生

Q 「大和」の字は何故ヤマトと読むのか？ 又、その意味は？

A ヤマトは山の処（ふもと）の意で、中国での称である「倭」が当てられ、さらに2字の好字とするために「大」が添えられました。その「倭」を平安時代に日本で同音の「和」に変えたものでした。

Q 数字やアルファベットが使われる時代は来るでしょうか。
そのような要望を持つ人々が現れたら、先生は反対しますか？
その理由も教えてください。

A 現行の戸籍法では、名は「常用平易な文字」に限定され、運用上も「正しい日本文字」などとされています。会社登記では商号にすでにローマ字が解禁されており、今後、名も要望する人が現れたら、国際化の中で採用の条件を満たすのでは、と思います。

Q 「中島」の読みは「ナカジマ」と「ナカシマ」でアクセントが違いますが、何か事情があるのでしょうか。

A アクセント体系の地域性の他に、東京式アクセントにおいて普通名詞や地名や姓（「～しま」と「～じま」など）において、連濁が起こる語形ではアクセントが平板化するという傾向が知られており、それに準じるのでは、と考えています。

Q 現代において苗字の種類の増減にはどのような要因があるのでしょうか。

A 稀少な姓の方の一般的な姓への改姓、あるいは婚姻等による改姓や死亡は、姓の種類を減らします。一方で、通称を利用した改姓、日本国籍の取得に伴う創姓は姓の種類を増加させています。

Q 妹の名前は「与貴美（ひろみ）」といいます。父は理由をはっきり言わず亡くなってしまいました。何かおわかりになりますか。

A 「貴さを与える」ことから、何かを「ひろげる」という意味合いを連想されたのかもしれませんが。方法としては、創作的な熟字訓といえます。

Q 選択的夫婦別姓の議論が進む中で、私たちは「名字」を個人のアイデンティティと家族の記号、どちらとして強く捉えているのでしょうか？

A 大学生たちに聞く限り、親が漢字を「高」「邊」と書くから自分もそうしたなど、姓を家族で共通する記号として捉える意識の方が強いように感じられます。ただし詳しくは、アンケートを取る必要があります。

Q 「タニザワ」は「ヤザワ」と読まれることが多いですが、どちらの読み方が多いですか？地域性はありますか？

A 谷沢・谷澤では、全国的にタニザワの方が多く、とくに西日本に分布します。一方、ヤザワは東日本の方に多く分布しますが、濁らないタニサワとなると東日本に優勢です。

Q「山田」よりもっと人口が多い姓がいくつもあるのによく書類記入見本に使われているのはなぜでしょうか。

A「山」も「田」も多くの人に分かりやすい簡単な漢字です。そのうえ、どちらも日本の姓に多用される字で、見やすく書きやすく、姓だということが理解されやすい。さらに仮に示す場合の習慣化した姓の代表であるという約束（姓名では山田太郎、山田花子のように）まで伝わる。そうしたことによるものだと思います。